

2023年6月16日

## 横浜ゴム、米国の過酷なヒルクライムレースに参戦 サステナブル素材を使用したレーシングタイヤを供給し 2年連続の総合優勝を目指す

横浜ゴム（株）の米国のタイヤ販売会社である Yokohama Tire Corporation（ヨコハマタイヤコーポレーション=YTC）は 2023 年 6 月 25 日に米国・コロラド州で開催される「第 101 回パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」に参戦する 6 クラス 26 台以上へ、サステナブル素材を使用したレーシングタイヤ「ADVAN A005（ドライ用）」を含む「ADVAN」レーシングタイヤを供給します。グローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」45 周年となる本年は「ADVAN」最大化への挑戦「ADVAN CHALLENGE」のテーマの下、2 年連続の総合優勝をはじめ全クラスでの優勝を目指すとともにサステナブルなモータースポーツへ挑戦します。

サステナブル素材を使用した「ADVAN A005」を供給するのは、昨年総合優勝を果たした Robin Shute（ロビン・シュート）選手。タイヤは本年より「全日本スーパーフォーミュラ選手権」にワンメイク供給しているものと同スペックで、従来タイヤと同等のグリップ性能を維持しながらサステナブル素材比率 33%※を達成しています。また、エキシビションクラスで「2021 Tesla Model S Plaid」を駆る Randy Pobst（ランディー・ポブスト）選手へ供給する「ADVAN A005」は、走行時に最も変形が大きくなるサイドウォールのゴムを従来の石油由来のブタジエンゴムからバイオマス由来のブタジエンゴムに変更し再生可能原料比率を高めています。今回、過酷なヒルクライムレースでの実戦を通じて新たな知見を取得し、環境負荷を低減する技術開発をさらに加速化します。そのほか、2022 年にオープンホイールクラスで優勝した Codie Vahsholtz 選手やタイムアタック 1 クラスで優勝した David Donohue 選手など多くの有力選手へ供給します。また、「Porsche Cayman GT4 Clubsport」などで競われる「ポルシェ パイクスピーク トロフィー by Yokohama」クラスへのワンメイク供給も継続し、6 年連続で「ADVAN A052」を供給します。

※天然ゴム、アブラヤシの実やオレンジの皮から生成したオイルなど各種自然由来の配合剤を活用するとともに、リサイクル鉄や廃タイヤから再生したリサイクルゴム、さらにマスマランス方式の合成ゴムを採用することで原材料全体の約 33%をサステナブル素材とした。

「パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」は 1916 年から開催されている伝統あるヒルクライムレース。別名「雲へ向かうレース」と呼ばれ、標高 2,862m のスタート地点から標高 4,300m にあるゴールまでの約 20km のコースにて競われます。ヨコハマタイヤ装着車は 2020 年と 2022 年に総合優勝、2021 年に 2 部門でクラス優勝を果たしています。

横浜ゴムは 2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ消費財事業において高付加価値商品の主力であるグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」、そして「ウィンタータイヤ」の販売構成比率最大化を掲げています。その中で、モータースポーツ活動を先行技術開発および「ADVAN」「GEOLANDAR」ブランド強化の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまで国内外の多岐にわたるモータースポーツ競技で培った技術を高性能・高品質な新車用および市販用タイヤの開発にフィードバックしています。

また、サステナビリティ経営において「未来への思いやり」をスローガンに掲げ、事業活動を通じた社会課題への貢献を持続的な企業価値向上に繋げていきます。サーキュラーエコミーではサステナブル素材の使用率を 2030 年に 30%以上、2050 年に 100%とすることを目指しています。



昨年の「第 100 回パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」で  
総合優勝した Robin Shute 選手の「2018 Wolf TSC-FS」

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田  
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552

〈参戦リスト (リリース発表時点) 〉

クラス	ドライバー	エントリー	供給タイヤ
Exhibition	Tanner Foust	2023 Radford Type 62-2	DRY: A005 / WET: A006
	Paul Hubers	2023 Acura Integra	DRY: A005 / WET: A006
	Justin Lumbard	2023 Acura Integra	DRY: A005 / WET: A006
	Randy Pobst	2021 Tesla Model S Plaid	DRY: Biomass A005 / WET: A006
	Loni Unser	2023 Acura Integra	DRY: A005 / WET: A006
	Lew Bouchier	1996 Fabcar Porsche 911	DRY: A005 / WET: A006
Open Wheel	Codie Vahsholtz	2013 Ford Open Vahsholtz Custom	DRY: A005 / WET: A006
Pikes Peak Open	Cam Ingram	2016 Porsche GT3R	DRY: A005 / WET: A006
	Daijiro Yoshihara	2005 Honda S2000	DRY: A005 / WET: A006
Porsche Pikes Peak Trophy by Yokohama	Nuno Caetano	2020 Porsche Cayman Clubsport	A052
	Chris Becker	2020 Porsche Cayman Clubsport	A052
	Hayden Bradley	2020 Porsche Cayman GT4 Clubsport	A052
	George Hess III	2020 Porsche GT4 Clubsport	A052
	Hutton McKenna	2023 Porsche GT4	A052
	Gilles Nadeau	2020 Porsche GT4 Clubsport	A052
Time Attack 1	David Donohue	2019 Porsche GT2 RS Clubsport	DRY: A005 / WET: A006
	Robb Holland	2022 Porsche GT4 RS Clubsport	DRY: A005 / WET: A006
	Kathryn Mead	2020 Porsche GT4 Cayman Clubsport RS	DRY: A005 / WET: A006
	James Robinson	2022 Acura NSX	DRY: A005 / WET: A006
	Raymund Guerrero	2008 Dodge Viper	DRY: A005 / WET: A006
Unlimited	Lucy Block	2024 Sierra Echo	DRY: A005 / WET: A006
	Derek Boyd	2008 Mitsubishi Evo X	DRY: A005 / WET: A006
	Brett Dickie	2001 Honda S2000	DRY: A005 / WET: A006
	Andy Kingsley	2002 Porsche 911 Twin Turbo	DRY: A005 / WET: A006
	Cole Powelson	2010 Nissan Powerstroke GT-R	DRY: A005 / WET: A006
	Robin Shute	2018 Wolf TSC-FS	DRY: Sustainable A005 / WET: A006